

相模川および酒匂川で確認された魚類—I —初記録種について—

蓑宮 敦・勝呂 尚之・瀬能 宏

Atsushi Minomiya, Naoyuki Suguro and Hiroshi Senou:

New records of fishes collected from Sagami River and Sakawa River — I

はじめに

神奈川県水産総合研究所内水面試験場（以後「試験場」）では、相模川水系の魚類の生息状況を明らかにするため、1993年から継続的に魚類調査を実施している（神奈川県淡水魚増殖試験場, 1994, 1995, 神奈川県水産総合研究所内水面試験場, 1996, 1997, 1998, 1999）。また、神奈川県内の希少淡水魚の生息状況を把握するため、県内の15水系において1994年から魚類調査を実施している（勝呂ほか, 1998, 勝呂・安藤, 2000）。

今回は相模川および酒匂川において、これまでに試験場が実施した調査および他者の調査（工藤, 1984, 浜口・長峯, 1987, 神奈川県内広域水道企業団, 1993）で確認されず、1999～2000年の調査で初めて確認された5種の魚類について報告する。

調査方法

魚類の採集は、投網、電気ショック（スミス・ルート社製12型）、手網（径0.5 m）により行った。投網による採集は、3種の目合い（7節、16節、26節）を水深等の条件により使い分けた。岸辺の植物の間や大石が積み重なっている場所や、流速があって投網を使用できない早瀬の採集には、電気ショックと手網を使用した。併せて、採集時に水温と塩分を水質チェッカーU-10（堀場製作所）で測定した。

標本は、神奈川県立生命の星・地球博物館魚類資料（KPM-NI）として登録・保管された。

調査結果

1999～2000年の調査で初めて確認された各魚種の採集年月日、採集地点の状況および採集方法、採集個体数、体長（SL）、とともに神奈川県および近県（静岡、東京、千葉）での確認記録等を記載する。なお、科の配列と各種の学名および和名は、中坊編（1993）に従った。

Cyprinidae コイ科

Zacco temminckii カワムツB型

（図1）

KPM-NI 8726: SL: 90 (72) mm, LL: 47, A: iii+10,
KPM-NI 8727: SL: 79 (64) mm, LL: 51, A: iii+10

相模川の小倉橋上流で2000年3月30日に電気ショックにより2個体を採集した。採集地点は、相模川の本川部から離れた右岸の溜まりで、上流にある城山ダムが放流を行った時のみ本川とつながる場所である。採集時の水温は10℃、塩分0‰であった。標本の個体は婚姻色を調べるため2000年10月26日まで飼育したものである（括弧内の数値は採集時のSLを示す）。

神奈川県では1996年8月8日に相模川水系秋山川で、当試験場の調査により採集されたが（勝呂ほか, 1998）、後にこの個体は、側線鱗数および尻鰭条数からA型と同定した（勝呂未発表）。

静岡県ではいずれも両型分離前であるが、狩野川（板井, 1982；金川, 1988）、青野川（板井, 1985）、伊東松川、瀬戸川、栃山川、大井川、新野川、菊川、太田川、天竜川、花川、日比沢川（板井, 1982）での記録がある。

東京都では1998年に多摩川水系（多摩川本流、平井川、秋川、谷地川、残堀川、程久保川）で投網、手網により採集されている（東京都環境保全局水質保全部, 2000）。

千葉県では印旛沼での確認記録がある（谷城, 1985）。

Kuhliidae ユゴイ科

Kuhlia rupestris オオクチユゴイ

（図2）

KPM-NI 8724: SL: 21 mm, A: III, 10（相模川）,
KPM-NI 8722: SL: 20 mm, A: III, 10（酒匂川）, KPM-NI 8723: SL: 20 mm, A: III, 10（酒匂川）

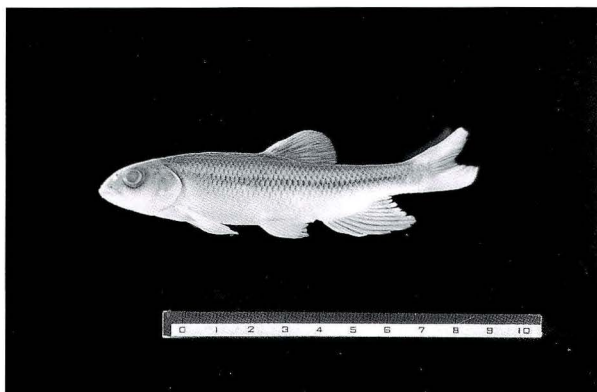


図1. カワムツ B型 *Zacco temminckii*.

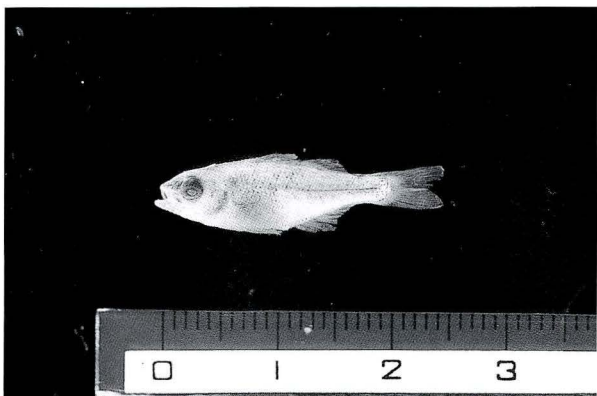


図2. オオクチユゴイ *Kuhlia rupestris*.

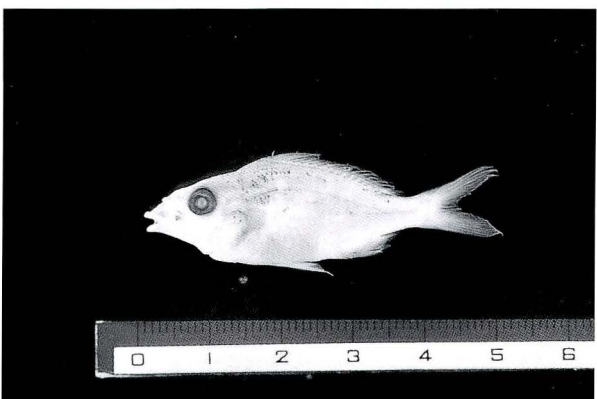


図3. イトヒキサギ *Gerres filamentosus*.

相模川では、1999年7月23日に寒川取水堰の舟通しデニール型魚道内で手網により1個体を採集した。採集時の水温は、24.3℃、塩分0%であった。

酒匂川では1999年10月19日に河口に近い運動公園前床止直下の右岸寄りの深みで、電気ショッカーにより2個体を採集した。採集時の水温は16.3℃、塩分0%であった。

神奈川県では、2000年10月25日に横浜市金沢区侍従川で曳き網により1個体（SL: 23.7 mm）が採集されている（工藤・瀬能, 2002）。

Gerreidae クロサギ科

Gerres filamentosus イトヒキサギ

(図3)

KPM-NI 8721: SL: 37 mm, LLp: 45, TRa: 7



図4. ナンヨウボラ *Moolgarda perusii*.



図5. ツバメコノシロ *Polydactylus plebeius*.

相模川の河口から約1800 m上流にある、JR東海道本線鉄橋の右岸側の橋脚付近で、1999年10月25日に投網により1個体を採集した。採集時の水温は19.5℃、塩分1.26%であった。

本種はこれまで、神奈川県、静岡県、東京都、千葉県での確認記録がない。主要な分布は南日本の太平洋岸で、国外ではインド洋・西太平洋域とされる（中坊編, 1993）。

Mugilidae ボラ科

Moolgarda perusii ナンヨウボラ

(図4)

KPM-NI 8717: 44 mm, KPM-NI 8718: 44 mm, KPM-NI 8719: 42 mm

相模川の湘南銀河大橋から約1,200 m下流、河口との中間にある長さ約300 m、幅約50 mの中洲の右岸側には干潮時にワンド状になる水域があり、1999年11月10日に投網により、セスジボラ17個体（SL: 67-49 mm）とともに、3個体を採集した。採集時の水温は18.2℃、塩分0.17%であった。

神奈川県では、1993年9月19日に金沢区野島町の野島水路で投網により採集されている（工藤ほか, 1996, 工藤・中村, 1999）。

東京湾では東京都下の沿岸浅所で行われた小型地曳網調査で、1986～1998年にかけて複数回の記録がある（東京都環境保全局水質保全部, 2000）。

静岡県では、1984年11月10日に菊川で採集されている（金川，1988）。

Polynemidae ツバメコノシロ科
Polydactylus plebeius ツバメコノシロ
(図5)

KPM-NI 8720: SL: 150 mm

相模川の湘南大橋上流左岸寄りで1999年11月10日に投網により1個体を採集した。採集時の水温は16.4℃，塩分0.97%であった。

神奈川県では、1991年6月25日に京急油壺マリンパーク下および1991年10月15日に城ヶ島（工藤ほか，1992），1990年10月23日および11月14日に毘沙門定置網（山田，1991），二宮町地先五ッ浦定置網（林・西山，1980），葉山海岸（林・伊藤，1974b），天神島（林，1982）等の確認記録がある。

千葉県では、1992年10月7日に館山市相浜の定置網（望月ほか，1999），館山湾南部（林・伊藤，1974a）で確認記録がある。

おわりに

本報告を作成するに当たり，調査における魚類等の採集にご協力いただいた，相模川漁業協同組合連合会の皆様，資料収集にご協力いただいた，神奈川県水産総合研究所の工藤孝浩氏，株式会社環境科学研究所の荒尾一樹氏，調査全般にわたりご協力いただいた，当時日本大学水産増殖学研究室の学生であった山口秀夫氏，神奈川県水産総合研究所内水面試験場の職員の皆様に深く感謝申し上げます。

文 献

- 浜口哲一・長峯嘉之，1987. 相模川中下流域魚類相への追加と訂正，平塚市博物館研究報告 自然と文化，(10): 1-8.
- 林 公義・伊藤 孝，1947a. 館山湾南部（沖ノ島・鷹の島・西岬・洲崎）にみられる魚類について，横須賀市博物館雑報，(19): 18-30.
- 林 公義・伊藤 孝，1974b. 横須賀市佐島天神島・笠島沿岸の魚類，横須賀市博物館雑報，(20): 37-50.
- 林 公義・西山喜徳郎，1980. 西湘定置網で漁獲された魚類－相模湾産魚類目録・Ⅰ－，神奈川自然誌資料，(1): 15-27.
- 林 公義，1982. 横須賀市佐島天神島・笠島沿岸の魚類(V)－横須賀市佐島地先の沿岸魚類リスト追補・2－，横須賀市博物館報，(28): 11-17.

- 板井隆彦，1982. 静岡県の淡水魚．第一法規出版，208 + iv pp. 東京.
- 板井隆彦，1985. 淡水魚．静岡県の自然環境－静岡県自然環境基本調査の概要－. pp. 100-123, 静岡県.
- 神奈川県内広域水道企業団，1993. 相模取水施設建設事業環境影響予測評価書，482 pp.
- 神奈川県水産総合研究所内水面試験場，1996. 平成7年度相模川水系魚類生息状況調査報告書，115 pp.
- 神奈川県水産総合研究所内水面試験場，1997. 平成8年度相模川水系魚類生息状況調査報告書，61 pp.
- 神奈川県水産総合研究所内水面試験場，1998. 平成9年度相模川水系魚類生息状況調査報告書，194 pp.
- 神奈川県水産総合研究所内水面試験場，1999. 平成10年度相模川水系魚類生息状況調査報告書，107 pp.
- 神奈川県淡水魚増殖試験場，1994. 平成5年度相模川水系魚類生息状況調査報告書，75 pp.
- 神奈川県淡水魚増殖試験場，1995. 平成6年度相模川水系魚類生息状況調査報告書，82 pp.
- 金川直幸，1988. 静岡県の河口域魚類－神奈川県との比較－. 神奈川自然誌資料，(9): 1-13.
- 工藤孝浩，1984. 相模川水系の魚類－第2報－. 神奈川自然保全研究会報告書，(3): 32-42.
- 工藤孝浩・岡部 久・山田和彦，1992. 三浦半島西部沿岸域の魚類－Ⅱ. 神奈川自然誌資料，(13): 39-44.
- 工藤孝浩・中村良成・清水詢道，1996. 横浜，川崎および中の瀬海域から初記録の魚類－Ⅱ. 神奈川自然誌資料，(17): 63-72.
- 工藤孝浩・中村良成，1999. 横浜，川崎および中の瀬海域から初記録の魚類－Ⅲ. 神奈川自然誌資料，(20): 45-54.
- 工藤孝浩，2002. 横浜市侍従川におけるオオクチユゴイの出現. 神奈川自然誌資料，(23): 3-4.
- 望月賢二・大谷修司・宮 正樹，1999. 南房総の海産魚類. 千葉県生物学会編，千葉県動物誌，pp. 834-855. 文一総合出版，東京.
- 中坊徹次編，1993. 日本産魚類検索. xxxiv + 1474 pp. 東海大学出版会，東京.
- 勝呂尚之・安藤 隆・戸田久仁雄，1998. 神奈川県の希少淡水魚生息状況－Ⅰ（平成6～8年度）. 神奈川県水産総合研究所研究報告，(3): 51-61.
- 勝呂尚之・安藤 隆，2000. 神奈川県の希少淡水魚生息状況－Ⅱ（平成9・10年度）. 神奈川県水産総合研究所研究報告，(5): 25-40.
- 谷城勝弘，1985. 印旛沼の魚類. 千葉動物誌，34 (2): 64-68.
- 東京都環境保全局水質保全部，2000. 平成10年度 水生生物調査結果報告書. 環境保全局関係資料，600 pp.
- 山田和彦，1991. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類Ⅰ. 神奈川自然誌資料，(12): 21-28.

(蓑宮・勝呂：神奈川県水産総合研究所内水面
試験場，瀬能：神奈川県生命の星・地球博物館)